

農経新聞

2025年(令和7年)2月10日(月曜日)

青果育種研究会

13社が50品種P R 大田市場で第168回見本市

青果育種研究会(会長

後藤正明・横浜丸中青

果社長)では、東京・大

田市場事務棟2階大会議

室で第168回品種見本

市を開催した。会員種苗

会社13社が計50品種の今

春以降の栽培にお勧めす

る品種を展示したほか、

住友ベークライトが同社

の青果物鮮度保持フィル

ム「P-プラス」を、同市

場青果仲卸の大治が「有

機、機能性志向の野菜」の

特別企画展示を行った

(写真)。

開催にあたり後藤会

長、東京青果の川田光太

社長による挨拶に続き、

東京青果の村野伸一郎常



務が「環境に負けない連 或販売環境が大きく変化
携強化」のテーマで講 する中、安くなれば生産
演。村野氏は「生産環境 者は作らず、高ければ売

れない傾向がこ
れまで以上に強
くなっている。
ニーズに適した
商品作りや生産
者目線での持続
可能な商品の掘
起しに向け、流
通業者と種苗会
社のさらなる連
携強化を」と訴
えた。